

福島民友(平成23年10月22日(土))



「もとみや秋祭り」は21日、本宮市内で開幕した。23日までの期間中は北部、南部、東部の先囃子、太鼓台が連日運行。中心市街地には約160店の出店が並び、多くの人でにぎわっている。22日は女性だけで担ぐ真結女御輿、下帯姿の男衆による裸神輿が登場する。

元気のいい掛け声とともに、先囃子を引いて市内を練り歩く子どもたち

おはやし威勢よく

相模女子大生も参加
○：同市に毎年、農業体験に訪れるなど交流を続ける相模女子大の学生12人が訪れ、「なみえ焼そば」を出店する宝来軒(浪江町)などを手伝っている。飯田睦さん(1年)は「22日は真結女御輿を担ぐので楽しみ」と笑顔。店主の石沢茂さんは「学生が手伝ってくれ、涙が出る思い。多くの町民も来てくれ、祭りを通して再会を楽しんでいる」と話した。



「なみえ焼そば」をPRする学生ら

ミンユウ・ネット (平成23年10月23日(日))

威勢よく、女みこし登場 本宮の秋祭りにぎわう

23日まで本宮市中心市街地で開かれている「もとみや秋祭り」。22日は、あいにくの雨模様となったが、祭りの華の真結女御輿(まゆみみこし)と裸神輿(みこし)が登場し、威勢よく本宮市内の目抜き通りを練り歩いた。

真結女御輿は若い女性だけで担ぐ珍しい御輿で、今年25周年記念。

今年は市民や本宮高の生徒のほか、同市で毎年交流体験事業をしている相模女子大の学生も参加。薄緑色の法被をまとって「セイヤー、サー」の掛け声とともに御輿を担ぎ、祭りを盛り上げた。

夕方には、下帯姿の男衆らによる裸神輿が登場。今年は修理して生まれ変わった神輿を担ぎ、各所で迫力ある「もみ合い」を披露した。最後は神輿を担いで安達太良神社の階段を登り、神社に納めた。

最終日の23日は午後1時から、県内外の御輿愛好者が集まって担ぐ東日本大震災復興祈念御輿が登場する。

(2011年10月23日 福島民友トピックス)



女性だけで担ぐ華やかな真結女御輿